

障がい当事者部会への質問に対する回答

令和3年第1回 相談支援部会（書面開催）で、部会員の皆様から募った「障がい当事者部会の部会員へ聞きたい内容」について、第2回障がい当事者部会（3月29日開催）で議題として取り上げた。以下、質問への意見を報告する。

障がい当事者部会の部会員へ聞きたい内容

相談支援事業所の、あったら良いなと思う支援や、改善してほしい（ほしかった）支援について、ご意見等伺いたい。

※本質問についてのご意見は、障がい当事者部会の時間の都合上、書面で回答いただいた。

障がい当事者部会でのご意見

- 相談に応じてくれる事業所が少ない。また、事業所の専門が高齢だったりする。当事者が高齢になったときは必要となるが、障がいの専門性も必要である。
- 重度重複障がい者に対応できる事業所が増えてほしいと思っている。包括的な支援になっていくためにも、関係各所にスムーズにつなげていける相談支援になっていくように…と思う。
- 高次脳機能障がい者は障がい者初心者で、障がい福祉サービスの知識が極端に少ない。支援を受けるべき状態でも支援の存在自体を理解していない場合がある。相談支援事業所のほうから支援の「御用聞き」はできないものだろうか。手帳を新しく取得した人に対して、アウトリーチしてもらえればありがたい。
- 相談支援事業所ではないかもしれないが、「障がい者福祉のしおり」を渡すときに、当事者に関連するサービスを明示してあげて欲しい。
- 障がい特性に応じた相談体制の充実を希望します。
- 精神疾患のセカンドオピニオンを受けられる医師を紹介してほしい。精神疾患は、薬剤適合していなくても、なかなか医師を変えられない。